

かがやき

加入団体 活動紹介

芳賀町農村生活研究グループ協議会



11月12日町民祭

いもほり体験

主な内容

- 総会……………2
- 会員研修……………3～5
視察研修・バランスボール
講演会
- かがやく町民のつどい…6～7
- ジェンダー川柳コンクール…8

自粛していたさまざまな事柄が動き出した令和5年春。しかし、今まで停止していたわけではなく、出来ることをやってみる！と、試行錯誤の時間は、今となっては得難い体験でした。私たちがもつ柔軟性・忍耐力を新たに認識した思いです。では、2030年までに達成を目指す「SDGs17の目標」はどうでしょう。日々前進して目標に向かい、更なる努力が必要と思います。

「町民のつどい」にて、能登半島地震への募金を実施し、皆様にご協力頂きました。御礼申し上げます。義援金は全額、芳賀町社会福祉協議会へ寄付いたしました。
(副会長)



会 長
増淵さつき

男女共同参画の視点

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択が尊重され、自主的な取組をベースとした対応に変わることになりました。

コロナ禍にあっては、自粛していた「視察研修」も5年ぶりに開催することができました。

他の事業も広く参加募集を呼びかけることができるようになったものの、集来には結びつかず、テーマ設定の難しさを痛感しています。とはいえ、当団体が主催する以上「男女共同参画の視点」は外せないという思いで事業を展開しているところです。

今年度の「かがやく町民のつどい」のテーマは“防災講座”でした。これまでも、つどいや研修の中で「防災まちカフェ」H.30、「非常時の防災備蓄収納」R.1、「東日本大震災～災害時の性暴力～」R.2などを取り上げてきました。

一連の男女共同参画の視点からの“防災講座”は繰り返し開催することで、例えば、本年正月に発災した能登半島地震は誰にでも起こりうることで、自分の身に置き換えて考え、防災・減災のための行動を考えるきっかけになるのだと思います。

今年度の事業開催に当たり多くの方のご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。これからも、男女共同参画の視点からの発信を続けてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 芳賀町女性団体連絡協議会総会

令和5年5月30日(火)町民会館多目的室において大関町長、小壕教育長のご臨席をいただき総会が開催されました。

新型コロナウイルスが5類になりましたが、マスクなどで気を付けながらの総会となりました。JAはが野芳賀地区女性会の菊地富士子さんを議長に円滑な議事進行で、無事総会が終了しました。

総会后、会員交流会を行いました。コロナからの一歩前進となりました。

令和5年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏 名	団 体 名
会長	増淵 さつき	芳賀くらしの会
副会長	石下 篤子	JAはが野芳賀地区女性会
〃	小山 佳子	芳賀町ひばりの会
〃	小林 久子	芳賀くらしの会
書記	綱川 まゆみ	芳賀町農村生活研究グループ協議会
〃	山崎 みのり	事務局(生涯学習センター)
会計	磯 孝	芳賀つばさの会
〃	人見 章子	栃木県家庭教育オビニオンリーダー連合会芳賀支部
理事	酒井 澄子	JAはが野芳賀地区女性会
〃	小林 峰子	JAはが野芳賀地区女性会
〃	廣木 初江	芳賀町ひばりの会
〃	石下 尚美	芳賀町農村生活研究グループ協議会
〃	梅澤 知江	芳賀町農村生活研究グループ協議会
〃	山崎 ひろ子	芳賀つばさの会
〃	岩松 みち子	芳賀つばさの会
〃	土井 昌子	栃木県家庭教育オビニオンリーダー連合会芳賀支部
〃	今井 由佳	栃木県家庭教育オビニオンリーダー連合会芳賀支部
監事	福田 純子	芳賀町ひばりの会
〃	佐藤 幸枝	芳賀くらしの会



会員交流会

総会后、会員交流会として、各団体が活動の報告をしました。

改めて知ることもあり、互いに「応援したいな、協力したいな」そんな気持ちになりました。

コロナ禍で集うことが難しかった時期から“いかに立ち上がるか”が大事な年だったと思いました。

第1回会員研修会

令和5年10月18日

視察研修会 ジャパンテック宇都宮工場見学 (ペットボトルリサイクル工場)

コロナ感染症対策の緩和に伴い、今回は久々にバスを利用して鹿沼方面の視察研修を行いました。晴天に恵まれ、参加者の笑い声がバスの中にもあふれました。



参加者の声1

JAはが野芳賀地区女性会 小林 峰子
10月18日、鹿沼方面の研修に参加させていただきました。ジャパンテックの工場見学では、食品用の使用済みペットボトルを原料化し、新たな食品用ペットボトルに再利用する「ボトル to ボトル」という日本初のリサイクル方法があること、そして日本のリサイクル率が世界最高水準の86%であることを知り、誇らしい気持ちとともに、今後も適正にリサイクルすることを心がけたいと思いました。

また「屋台のまち中央公園」で見た彫刻屋台の素晴らしさに感動し、神社祭で繰り出される様子に思いをはせる一日でした。

参加者の声2

芳賀町ひばりの会 福田 純子
秋晴れのもと久々のバス視察研修となりました。今回は、ジャパンテック(株)宇都宮工場を見学し、ペットボトルのリサイクルの流れを伺ってきました。回収されたペットボトルは、選別処理された後、原料化され、商品として生まれ変わります。説明の中で驚いたのは、1kgあたりCO₂削減量は63%で、これは、サッカーボール100個分の削減効果があるという事です。まさにSDGsだと思います。白衣や学生服などに再生され、とちぎ国体や選手団のユニフォームにも使われたそうです。これから少しずつでもペットボトルの分別を心がけたいと思いました。



第2回会員研修会 令和5年11月16日(木) 生涯学習センター研修室

バランスボールDE歪み改善レッスン体験

講師 黒子 善久氏

益子町在住で、Cafeましこびとの店主兼スポーツインストラクター、管理栄養士の黒子善久先生を迎え、バランスボールの体験をしました。先生曰く『自分の体の歪みを理解し、よい姿勢を意識することで、健康と美しさを手に入れるべし』



参加者の声1

芳賀町農村生活研究グループ 梅澤 知江
「立って背中を見せて下さい。」「右肩が下がっていますね。」「この辺りに負担がいくんですよ。」と講師の先生は私の右ふくらはぎを指して説明されました。

今回のバランスボールは、「cafeましこびと」のオーナー、黒子善久先生を講師に迎え行われました。カフェ経営のかたわら、管理栄養士の資格を持ち、さまざまな講演活動をおこなっている方です。

まさに説明通り、この一年ぐらい右のふくらはぎだけが痛み、困っている状態でした。そして、この痛みは、からだのゆがみが関係しているそうです。姿勢をみただけで、痛みやゆがみがわかるのか、と興味深く思いました。

バランスボールは、体幹をきたえ、体の歪みを整えることができる運動です。運動といっても、ハードな動きはほとんどありません。基本は「ボールに座ってはねる。」です。家では、テレビを見ながらボールにのることがおすすめです。

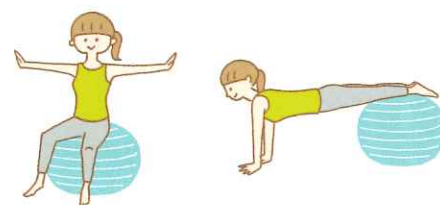
気さくな先生の人柄と、楽しい運動で、約2時間、和気あいあいと過ごすことができました。家には、ちょうどバランスボールがあるので、一日一回は、ボールに座ってみようと思いました。

参加者の声2

芳賀くらしの会 小林 久子
「お腹を出して反っくり返って歩いていませんか」私の靴底を見た講師の黒子さんに、すかさず指摘された。人には、それぞれ体に癖(歪み)があるとのこと。位置を決め足踏みを始め、途中から目を閉じ、その場足踏みを続けるエクササイズをした。あまりずれはないだろうと信じて目を開けると、なんと大きく動いていたことか！周りからも、あちらこちらに動いたと、驚きの声や笑い声が聞こえた。どこにどのように動いたかが、その人の体の癖だ。自分の体の癖を知った上で、バランスボールに座り、膝の屈伸をしながら足や腕等身体全体を使った運動をした。動きたくなくても、バランスボールの弾みで身体が勝手に動いてしまう感覚だった。二人組やグループなどでボールを使ったゲームもした。自分の体と相談しながら進めてくださいとのアドバイスを受けたので、無理せず楽しくたくさん動き心地よい汗をかくことができた。



いい汗かいて、いい笑顔



第3回会員研修会

令和5年12月16日(土) 水橋公民館 大会議室

講演会 「日本の働く女性の健康問題」

渡邊先生は、健康問題への理解を広げることが女性活躍社会につながるというお考えです。先生の勤務状態や女性の医師達の結婚観などから、難しいお話を身近に感じられ、考えることの多い講演会になりました。



講師 獨協医科大学病院
認知症疾患医療センター副センター長

渡邊 由佳氏

平成11年 獨協医科大学医学部卒業。

平成23年 医学博士取得。

平成26年～獨協医科大学日光医療センター 脳神経内科 診療科長

獨協医科大学病院認知症疾患医療センター 副センター長

令和5年～日光市立三依診療所所長

栃木県へき地医療支援会議構成委員

参加者の声1

芳賀町ひばりの会 小山 佳子
講師は獨協医科大学の渡邊由佳先生で、「日本における働く女性の健康問題」についてお話を聞きました。

先生も一人お子さんがいらっしゃるの事ですが、産前産後の職場での壮絶な状況と二人目は諦めるしかなかったとの話を聞き、よくご無事でと強く感じました。

そのような状況から、働く女性は増えているものの非正規雇用を選択せざるを得ない人も多く、また働く男性と女性の健康問題の違いが理解されざるを得ない人も多く、また働く男性と女性の健康問題の違いが理解されず、退職に追い込まれる方も多いとの事でした。女性の健康問題とは妊娠出産、月経時の症状、更年期障害など女性ホルモンの関係のある諸症状です。

いくら社会の仕組みを変えても、個々人の理解と認識が変わらないと本当の意味での女性の社会参画にはならないのだと感じました。

男女共同参画推進の活動は、社会に訴える事も大切ですが、個々人の心を無意識な思い込みから開放する事も大切だと改めて考えさせられました。

参加者の声2

家庭教育オピニオンリーダー会 土井 昌子
働く女性は、仕事に加え、家庭や地域コミュニティでの役割や子育てからのストレスからくる、多くの健康問題を抱えています。それに加え、日本での無償労働時間はまだ女性に偏っているし、家族の介護を理由に離職しなければならない女性も多いそうです。働く女性が増えている今、介護・育児・家事のサポートをどうしていくかが大きな課題となっています。アンコンシャスバイアス(無意識な思い込み)を無くし、多様性を受け入れ、自分を大切に健康に生きていくにはどうしたらよいのか。渡邊先生の体験談も交えながら、分かりやすくお話していただきました。自分の健康問題と向き合う良いきっかけをいただきました。ありがとうございました。





令和5年度「かがや 自分たちが地域を守る！みんなの防

令和6年1月20日 芳賀町工業団地管理センター 大会議室



講師：浅野 富美枝 氏

東京生まれ。
埼玉大学教養学部卒業。
法政大学大学院社会科学部研究科博士
課程修了。
専門分野は家族社会学、ジェンダー論。
東日本大震災後、宮城県下で男女共同
参画の視点による被災者支援、復興・
防災に関する実践と調査研究に取り組
む。
現在は、埼玉県吉川市男女共同参画審
議会会長、吉川市防災会議委員、吉川
市水防センター等整備検討委員会会
長を務める。



講演のポイント

○新年早々の能登半島大地震
災害は今やいつでもどこでも → 防災・減災は安全安心な
地域を作るための最重要課題

○多様性への配慮
男女共同参画の視点 → 災害の経験から導き出された
教訓

○災害に備えるには → 平時からの、フェイズフリー
の取り組みが重要

※フェイズフリーとはいつものモノやサービスをもしもの時に役立つようにデザインする考え方
(例えば、公園等に手もみポンプを設置すれば、水道が止まっても水が出る。編集部案)

講演内容から

1 「男女共同参画の視点」とはどういうこと？

- 女性自身が多様な存在
月経、妊娠、出産など女性固有の身体性に基づく視点
 - 女性が置かれた社会的、文化的な環境に基づく視点
生活者、育児や介護する側としての視点
- 多様性に配慮する視点が生まれる

2 自分たちが地域を守るために、具体的にやること

- ①行動を起こす 無理なくできることを一つでもいいからやる
- ②今地震があったらどうするか、問いかけ、訓練する
- ③女性が自主的に参加して活躍できる地域をつくる

3 避難所づくり

- 誰もが避難できること
 - 安心できる避難所をつくること
 - 地域防災計画を知る
 - 多様性の当事者の参画を進める
- 防災・減災を中心とした新しい地域の
仕組み、ネットワークをつくる

く町民のつどい」

災講座～男女共同参画の視点から～

芳賀町女性団体連絡協議会主催講演会



参加者の感想(抜粋)

- 自治組織の取り組みや、災害を想定しての取り組みが大切だった。(町内60代女性)
- 防災・減災について日常的に意識を高めることが必要と改めて思った。(町内50代男性)
- 自治会で防災活動を行っているが、男性組織なので、女性の視点から防災への備えを進めていくことが重要だと認識することができました。(町内50代男性)
- 能登半島で地震が起き、関心がありましたので、とても良かったです。マイタイムラインやマイハザードマップに取り組んでみようかと思っています。(町内70代女性)
- 災害があった時、子どもに手をかけてあげると、その子が大人になった時、手助けする側になれるとのこと、同感しました。(町内50代女性)
- 災害が起きる前の防災・減災に対する行動の必要性を感じました。ただ、自分が大変な時にどこまで周りに気づかい対応できるのか不安も感じました。今後の対応として災害が起きたらを想定する。自分がどう行動するか、危機感を持つこと。(町内50代女性)

- 避難所の環境、大いに負担がかかる事の大変さが分かった。避難所での性暴力があるとの事です、周りが目を配るのが大事ではないかと思いました。(町内50代女性)
- 日頃より意識して防災について考え、準備しておく必要性をしみじみ感じました。決して「他人ごとと思わないこと」が大切ですね。(町内70代女性)
- 風化への対応 「記憶」「記録」 防災訓練の重要性を改めて感じる。大規模でなく、実施範囲を小さくすることで、自分のこととして考えるチャンスになる。(町内60代女性)

上記以外にもたくさんのご感想を頂きました。
ありがとうございました。
私たちも、3・11の地震を思い返して、改めて暮らしを見つめ直そうと話し合いました。
ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。



講演後のアトラクション

芳賀町鳳麟雅楽会



時の流れがゆっくりに感じられました。
雅楽での「君が代」に感激！

第12回 芳賀町ジェンダー川柳コンクール

主催：芳賀町女性団体連絡協議会

男女が喜びも責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる、男女共同参画社会の形成に向け、青少年の理解や関心を高めることを目的として始めたジェンダー川柳コンクールも、今年で12回を数えました。

町内の小学4・5・6年生と中学生を対象に、応募作品408句の中から13句が入賞となりました。

子どもたちのまっすぐな目を通しての川柳は、クスッと笑えたり、納得したり…。入賞作品は、芳賀町健康カレンダーにも掲載されます。

審査にご協力いただいた皆さまや学校関係の皆さま、応募くださいました生徒の方々に感謝いたします。

ジェンダー川柳コンクール入賞作品

最優秀賞	エプロンをプレゼントする 父の日に	芳賀北小4年	砂子澤大智
優秀賞	ジェンダーをきちんと理解 令和人	芳賀東小6年	北折 匠
	朝ごはん パパが パパッと 卵焼き	芳賀中学校2年	関本心蒼来
佳作	同じでも ちがっても良い 全部ぼく	芳賀北小4年	小筆 照大
	個性とは みんな持ってる 宝物	芳賀北小5年	平塚 瀬夏
	家事力が ママより勝る うちのパパ	芳賀北小5年	久保翔太郎
	性別は 関係ないよ 個性だよ	芳賀中学校1年	坂下 綾音
	男女より 大切なのは 人として	芳賀中学校1年	澤村 愛祈
	パートする 母の休みは 家事育児	芳賀中学校1年	手塚 理桜
	差別なく 力合わせる 主婦と主夫	芳賀中学校1年	野澤 蒼汰
	知らぬ間に 男女差別で 傷つける	芳賀中学校1年	平塚 悠伸
	ラベルなく 輝く個々の 花咲かす	芳賀中学校2年	代田はな乃
	母のこと 嫁と呼ぶ父 好きじゃない	芳賀中学校2年	若柵 果歩

編集後記

コロナウイルス感染症5類移行に伴い、さまざまな事柄が動き出しました。元通りとはいきませんが、ゆっくりと前進しています。その過程もまた楽しいものです。

改めて、原稿をお寄せくださった方々にお礼申し上げます。

編集委員

石下 篤子 石下 尚美
岩松みち子 佐藤 幸枝
人見 章子 廣木 初江